

これまでの歴史を振り返って

人生旅立ちの舞台よありがとう！
恩師よ 友よ 絆は永遠に

末吉高等学校財部分校 こととなりました。この67年の歴史における本校の一番の特色は、文字通り「地域に根ざした学校」であったことだと思えます。特に今年度はその特



県高校音楽祭 (5/29) への全校生徒での出場 (ゴッタン演奏)

まえがき

本校は、大正10年末吉町立実科女学校を前身に、昭和23年に県立末吉高等学校となり、これまで1万5千余の卒業生を送り出してきましたが、この3月末で閉校を迎えることになりました。今年度は閉校に向けて様々な記念行事や記念事業に取り組んできました。

閉校記念体育祭

7月12日、同窓生・保護者及び地域の方々にもご参加をいただき、大変盛り上がった大会となりました。また、生徒たちの末高アンカーとしての誇りや、成功させるんだ

閉校記念文化祭

という思いが伝わる態度と演技は、見ている者にと大きな感動と勇気を与えてくれました。伝統あるプロムナードでは、生徒全員で見事に調和された集団行動美を披露しました。

11月7日、「永遠不滅く夢つなぐ」のテーマのもと、同窓生・PTA・地域の方々にも参加していただき盛大に行われました。綾小路きみまろ先輩からのビデオによる応援メッセージに始まり、生徒全員の夢の紹介や、ダンスやクラシックの活動報告、農業クラ

永遠に輝け財部の「財」たち

財部高等学校 教諭 上畑 由美子

色が濃く表れた一年間でしたが、その一部を紹介したいと思えます。まず、「ゴッタン」についてです。「ゴッタン」とは、南九州に伝わる郷土楽器で、かつて財部に名手がいたことから、地域で親しまれているものです。本校では同好会での活動がありましたが、今年度は地域文化の継承・普及とともに、学校全体の団結を図るため、「総合的な学習の時間」を使って、全生徒・職員で練習に励みました。そして、文化祭や近隣高校との交流のほか、県高校音楽祭にも全校生徒で出場し、たくさんの方々に披露、紹介することがで

きました。次に、閉校記念文化祭です。本校文化祭は、もともと地域からの鑑賞者が多く、舞台発表をしていただくこともしばしばでした。今回は在校生がわずか28人であることに加え、記念文化祭ということで、同窓生を中心に舞台発表のほか、展示物の提供・運営にまでご協力をいただきました。おかげで、これまで以上に盛大な文化祭を開催することができました。

次に、閉校記念体育祭です。こちらも人数の関係で、選手・役員ともに人員が不足する状態だったため、役員を地元中学生と同窓生にお願いしま

した。おかげで、生徒は選手に徹し、競技や応援に熱中することができました。また、同窓生との綱引きやフオークダンスなど、先輩方と触れあう時間も多く、笑顔のあふれる体育祭となりました。他にも、5年前から財部地域の文化や歴史を題材とした五つの紙芝居を創作し、地域の施設や学校などで読み聞かせを行ってきました。閉校に際し、これを絵本とDVDにまとめ、県立図書館をはじめ、近隣の小中学校等に寄贈しました。また、地域の体育祭や文化祭にも選手、演者、ボランティアとして携わって

「有終の美を飾る」 ～94年の醸成された伝統の集大成～

末吉高等学校 教頭 前田 良文

ブの意見発表、芸術鑑賞、職員バンド演奏、そして、最後に音楽選択者によるミュージカルとステージは大いに盛り上がりました。展示では各クラブの日頃の研究活動、また、末高メモリーズ・青春の坂道くでは、現存する卒業アルバムや卒業生と地域の方の応援メッセージを展示しました。農産物バザーや食物バザーも大盛況でした。

その他の閉校記念事業

6月12日、本年度で閉校する財部高校、岩川高校、高山高校、末吉高校の全生徒・全職員による4校交流会を実施しまし

た。文化交流では、それぞれの学校の特色や校歌斉唱が紹介されました。その後、スポーツ交流では、各学校の枠を外したチーム編成によるミニ運動会、ドッジボール大会を行いました。久しぶりの大人数での触れあいに、心の絆を結ぶことができました。



先輩が撮影した航空写真 (全校生徒による人文字)

結びに

修学・練技・自律・敬愛の校訓を掲げ、地域と共に94年の長い歴史を刻んできました。霧島山系を仰ぎながら、白鹿岳・高之峰や大川原峽・花房

峡・大鳥峽など素晴らしい自然のもと、生徒の夢や笑顔が明るく輝いたこの学舎で、平成28年3月に有終の美を飾れるよう一丸となって邁進していきます。支えてくれるすべてのの方々に感謝！